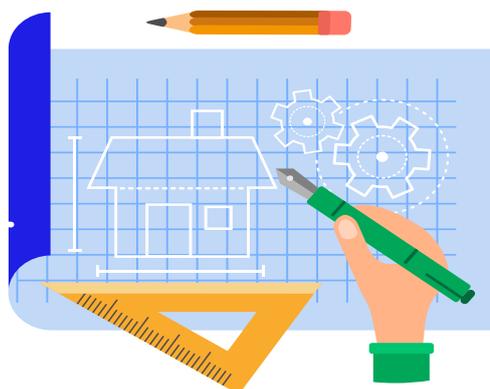


高まる 先行き不透明感



米中貿易摩擦は激化の可能性

最近の通商協議の展開は、貿易摩擦が長期化する様相を呈しています。



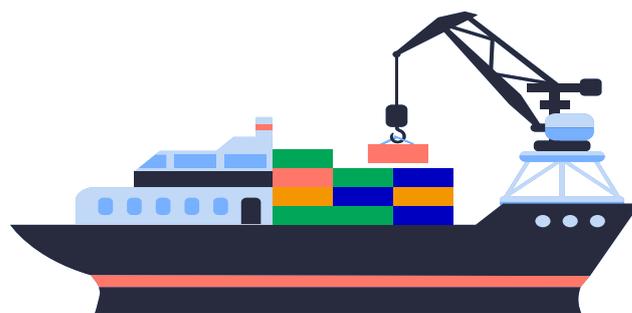
FRB（米連邦準備制度理事会）の金融政策見直しの可能性

FRBが金融政策を方向転換すれば、金融市場に大きな影響を与えるでしょう。

中国の景気刺激策の

グローバル経済への恩恵は限定的

中国の国内消費に軸足を置いた景気刺激策は、中国経済の安定化に寄与しています。一方、国際貿易への寄与は限定的であると見られます。



FRBは、利下げを正当化するための弱い経済指標集めに奔走していると思われます。とはいえ、私たちは7月の利下げが規定路線であるとは考えていません。9月の利下げを初回とし、年内2回の利下げを想定しています。2019年下半期の市場動向は、主に、世界的な貿易摩擦の激化、FRBの金融政策の見直し、中国の追加的な景気刺激策等に左右されると考えています。

チーフエコノミスト兼マクロ経済ストラテジー・グローバル・ヘッド
フランシス・ドナルド
マニライフ・インベストメント・マネジメント



※マニユライフ・インベストメント・マネジメントは、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションにおける資産運用ビジネス部門の新しいグローバル・ブランドであり、従来のブランド名であるマニユライフ・アセット・マネジメントから変更しております。また、各国拠点の社名についても順次変更を行っております。

[当資料に関する留意事項]

- 当資料は、情報提供を目的としてマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した参考資料であり、特定の有価証券等の取得勧誘や売買推奨を行うものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報に基づいておりますが、当社がその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更される場合があります。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料の一部または全部について当社の事前許可なく転用・複製その他一切の行為を行うことを禁止させていただきます。
- 当資料に記載された見解・見通し・運用方針は作成時点における当社の見解等であり、将来の経済・市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第433号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会